した。

整備が進むと、

園作りにも取り組んできま

ナの増殖、

ビオトープや公

幼虫の飼育・放流、

カワニ

新 でのの話



改に巨大ほたる

と、渡川周辺の環境整備、 舞するほたるを再現しよう 員たちは、以前のような群 祝う式典が行われました。 もとほたるの絵」がペイン 流にある砂防堰堤へ「子ど ト」(三木実正代表) の会 ┗され、三月三日、完成を ほたるの里プロジェク 一佐山田町新改の渡川上

で風景を変えました。 力、県と土佐山田町の援助 の人たちの有償・無償の協 知工科大学の学生たちがペ していました。 小学生に呼 トの堰堤が違和感をもたら の中にある大きなコンクリー イントに協力。地域の多く

ました。 三木代表は笑顔で話してい 環境を整えていきたい」と 「今後は、もっと河川の

びかけて、絵を募集し、高



群舞するほたるの再現をめざし

高 知

る「桜会」が、二月十二日 山地区に残された棚田で無 修代表) と、土佐山田町平 ブサ・ネット高知」(小澤 NPO法人「技術の杜ハヤ ス (FD) へお米を贈りま 高知ファイティングドッグ 農薬有機栽培を実行してい 棚田再生事業に取り組む

米に受け取った選手の腰も 思いのこもった重たい お

> 砕けそう。 花が咲きました。 口のキャンプ、里山の話に を温かく歓迎。 の選手、三人のマネージャー 藤城監督と五人 リー グやプ

地元の子どもたちとシー

も地域が活性化すれば、香 と喜んでいました。 など、農家出身の選手は ました。 棚田の大根を抜い ンプに最適」 の声もあがり 山小学校を見学、「ミニキャ トノックの後、 久しぶりに土にさわった. 学校施設を活用し少しで 昼食の付け合せにする 休校中の平

重い? まったお米は

しが見えてくるでしょう。 美市の将来にも明るいきざ ました。

名称も「桜公園」と決まり

「塩の道」に公園を造成



もち投げで落成を祝いました

は、山桜の苗木も植えられ 程約二七キームルの重要な産業 公園は、道中の休憩所とし 再整備が進められており、 代中ごろまで使われた全行 典が行われました。 に公園が造成され、 て使われた「塩の道」沿い て整備されたもの。 周辺に 赤岡と物部を結ぶ、 明治時 十五日には、落成を祝う式 塩や農産物を運ぶ道とし 「塩の道」は、 住民有志らで塩の道の 塩産地の

やなせさんの歌を聞きなが

できます。

本の世界を体感することが 世界が表現されており、 ラマによりアンパンマンの 今まで以上の大規模なジオ

やなせたかし記念館

アルされました。 ジアム」の展示がリニュー し記念館アンパンマンミュー 三月一日、「やなせたか

ギに子どもたちは大興奮。 なせたかしさんの「アンパ また、午後から行われたや アルオープンを祝いました。 んや来賓のあいさつ、テー 名誉館長のやなせたかしさ アンパンマンややなせウサ ンマン・ミニミニショー」 プカットが行われリニュー この日だけ特別に登場した には約二百人の観客が訪れ、 当日行われた式典では、

をモチーフにしたもので、

十時から十六時の毎正時に

ラストの『かくれんぼの木』 これはやなせたかしさんイ 登場した「からくりの巨木」。 所は、一階エントランスに

ミニショ

月二十四日、

卒業記念芸

植

の演

Ċ

を P R

アンパンマン・ Ξ で子ども達は大興奮

ら楽しい時間を過ごしまし 今回のリニューアルの見 班に分かれ協力して苗木の 成長を祈りながら植樹を行 いました。

えてきます。また、地下ア なると美しい鐘の音が聞こ

ンパンマンワールドでは、

思い出に残る記念植樹

授与があった後、児童は六 事伊藤嘉彦さんから目録の ビ高知花の基金」の常務理 記念としてセンダイヤザク 年生二十八人により卒業の 林において、大宮小学校六 ピースフルセレネ周辺で里 いただいた「財団法人テレ ラの植樹が行われました。 山公園として整備中の市 当日は、苗木を寄贈して 香北町 予防を呼びかけました。 をこめ、「お仕事がんばっ 消防任務への感謝の気持ち 着て演奏した後、日ごろの と書いたかわいいハッピを を演奏し、道行く人に火災 佐山田幼稚園の園児が太鼓 六旦 (三月一日~七日) 園児たちは 「火の用心」 全国火災予防運動期間中 山田消防署前で、土

「学問の神様」として広 の墓

再興した藩政時代の最高の 墓前祭は、土佐の南学を 地元住民や関係者

> 署員にお花を渡しました。 てください」と言葉を添え

谷秦山の遺徳をしのび



の三月

「火の用心」かわいいハッピでPR

学問の神様に手を合わせ

所で行われました。 く知られる谷秦山 (一六六 が二月十九日、ぐいみ谷 三〜一七一八年)の墓前祭 (土佐山田町北組西)

び、秦山会 (依光隆夫会長) 曜日に行われているもので が主催して毎年二月第三日 谷秦山の遺徳をしの

が執り行われました。 ら約四十人が参列し、 祈願していました。 神様に手を合わせ、 生の家族も参列し、 学問の 受験